

授業科目名	老 年 看 護 II			担当教員	原田 紀美枝、姫野 稔子	
開講年次	3年前期	セメスター	5		時間数(単位数)	30 (1)
必修選択	必修	授業形態	演習		使用教室	
授業の目的	加齢に伴う諸機能の変化と高齢者特有の健康課題から生じる日常生活上の問題に対し、個別的援助方法を導くための視点と技術を習得する。					
到達目標	1. 高齢者特有の健康問題のメカニズムおよび看護を説明することができる。 2. 生活者としての高齢者をとらえるために必要なアセスメントの視点を理解し、高齢者の個性を捉えた生活援助技術を実施することが出来る。 3. 高齢者特有の健康問題を持つ対象のアセスメント結果から科学的根拠に基づいた看護援助方法を具体的に述べる事が出来る。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	老年期は、加齢的变化や老年病の発現を伴う衰退期であり、受療率も上昇し、様々な健康問題を抱えている時期である。高齢者が健康寿命を延長し、より健康に生活するために看護の役割は重要になる。 この科目は、看護の展開と応用に位置付けられており2年後期の老年看護Ⅰと密接に関係している。老年看護Ⅰで学んだ老年医学や加齢的变化が高齢者の生活に及ぼす影響を理解したうえで、高齢者特有の健康問題とその看護に関する知識・技術を学習する。その学習過程において「問題解決力」を養うとともに、グループ学習を通して「チームで働く力」を養う科目である。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
			○	◎		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン① (栄養障害・浮腫)	講義	予習：テキスト第1章1低栄養、7浮腫を精読する。 復習：事例における栄養のアセスメントシートを記載。		2時間	原田
2	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン② (脱水・皮膚掻痒症)	講義	予習：テキスト第1章1脱水第3章掻痒を精読する。		1時間	原田
3	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン③ (摂食・嚥下障害)	講義	予習：テキスト第1章1摂食嚥下障害を精読する。 復習：事例における栄養のアセスメントシートを記載。		2時間	原田
4	摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法①	演習 (実技)	3個目の授業内容を演習で使えるように理解してくる。		1時間	姫野
5	摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法②	演習 (実技)	3個目の授業内容を演習で使えるように理解してくる。		1時間	姫野
6	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 活動・運動／睡眠・休息パターン (転倒・廃用症候群・睡眠障害)	講義	転倒のリスクファクターと高齢者の睡眠障害と各学の看護について復習する。		2時間	姫野
7	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 排泄パターン (排尿障害・排便障害)	講義	排泄のメカニズムおよび障害の種類や看護について復習する。		2時間	姫野

8	身体可動性の障害のある高齢者への移動の援助方法	演習 (実技)	予習：6コマ目・7コマ目の授業内容の復習を行い、事前に提示する事例の援助方法について考える。 復習：事例のアセスメントシートを記載	2時間	原田
9	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン① (抑うつ・せん妄)	講義	予習：テキスト第2章2うつ病、3せん妄を精読する。	1時間	原田
10	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン②（認知障害）	講義	認知症の病態及び症状に対する看護について復習する。	2時間	姫野
11	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン③ (コミュニケーション障害)	講義	コミュニケーション障害の原因と種類を理解し、各々の看護について復習する。	2時間	姫野
12	高齢者の End-of-Life ケア	講義	終末期の概念を理解し、講義内容を踏まえてそれぞれの死生観を考察する。	2時間	姫野
13	高齢者に特有の健康問題を持つ対象の看護過程の展開1	演習 (AL)	予習：事前に配布された課題に取り組みGWに備える。 復習：GWでの意見を踏まえ看護計画を修正する。	2時間	原田
14	高齢者に特有の健康問題を持つ対象の看護過程の展開2	演習 (発表)	予習：事前に配布された課題に取り組み発表に備える。 復習：発表での意見を踏まえ看護計画を修正する。	2時間	原田
15	老年看護Ⅱの総括および定期試験のフィードバック 事例の看護過程展開の解説	講義	復習：老年看護Ⅱにおける学習内容で理解が不十分であった箇所の知識の整理を行う。	1時間	原田
先行履修科目		2年後期までに履修すべきすべての科目			
テキスト		堀内ふき他：ナーシンググラフィカ老年看護学②高齢者の看護実践。メディカ出版、2016.			
参考文献		山田律子他：生活機能から見た老年看護過程。医学書院、2012. 正木治恵他：パーフェクト臨床実習ガイド老年看護（第2版）。照林社、2017. 折茂肇他：高齢者の特徴的な症状と看護計画。メディカルビュー社、2008. 奥宮暁子他：生活機能のアセスメントに基づく老年看護過程。医歯薬出版株式会社、2015. 大塚真理子：カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術。医歯薬出版株式会社、2014.			
評価方法		定期試験 80% レポート 20%			
教員等の実務経験		高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、看護過程や高齢者の看護援助技術についての講義や実技指導を行います。			
メッセージ		本科目は、3年後期に控える老年看護実習につなげる位置づけです。老年看護実習で活用できるように知識・技術を身につけてください。			